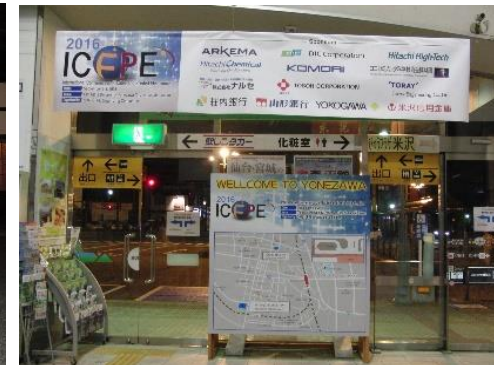




2016 ICFPE 開催報告書

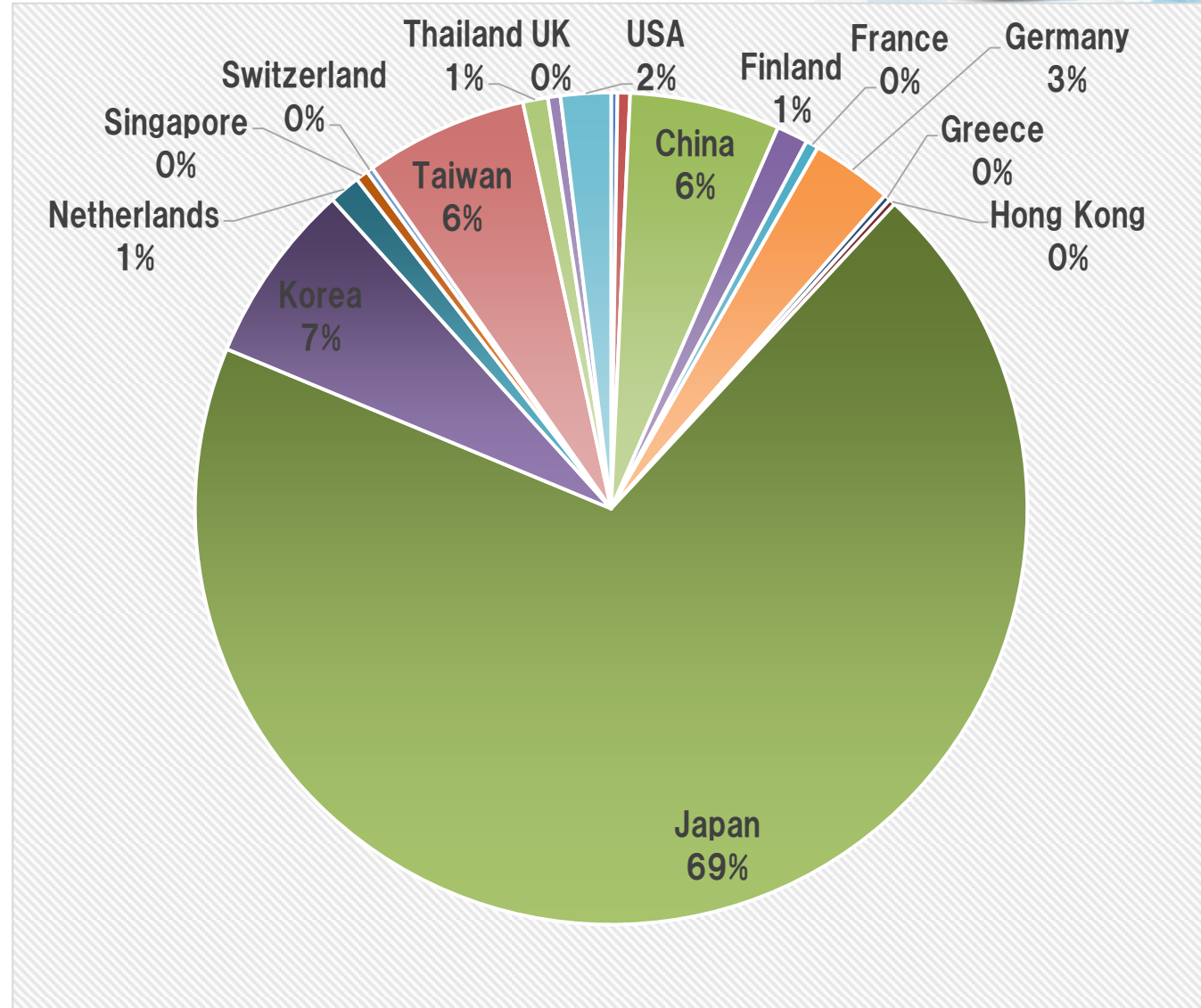


概要

- ・フレキシブル印刷エレクトロニクスの科学、技術、応用に関する国際会議
この分野の会議としては最大規模
- ・参加登録数; **411名** 海外;126名(16か国), 国内;285名
- ・発表論文数; **220件** 海外;87件(40%), 国内;133件
- ・セッション数; 20 (5セッション平行)
- ・分野; 集積回路, ディ스플레이, 照明, 太陽電池,
インク材料, 印刷装置, 他
(新設)ハイブリッド回路, メディカルセンサ, バイオセンサ
ザクセン州トピックス, ドイツOE-A(協会)トピックス
- ・効果; 有機エレクトロニクスの世界的拠点化推進
関連産業の活性化と企業誘致

参加国内訳

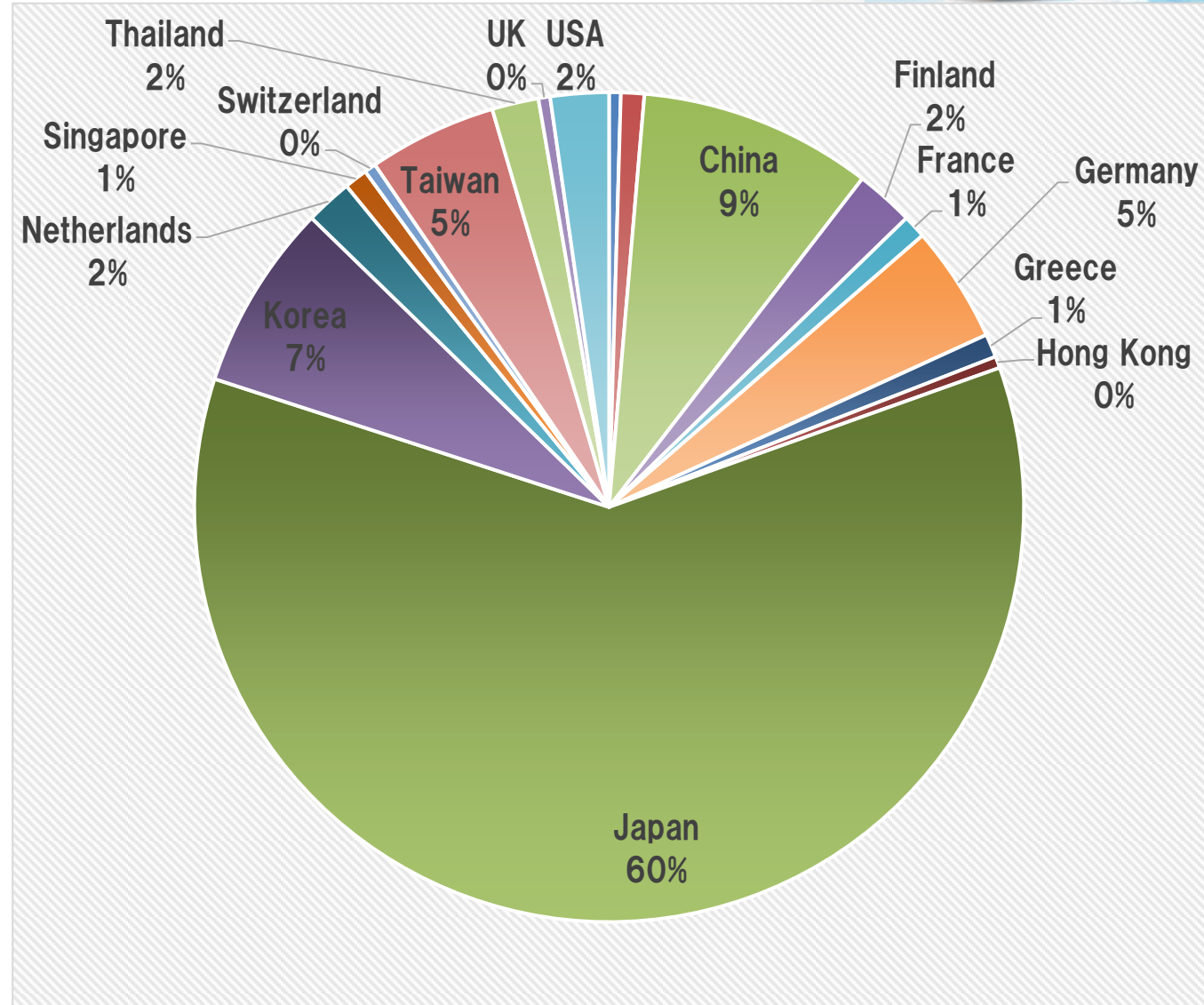
Country	事前	当日	参加登録数
Australia	1		1
Belgium	2		2
China	24		24
Finland	5		5
France	2		2
Germany	13		13
Greece	1		1
Hong Kong	1		1
Japan	241	44	285
Korea	24	5	29
Netherlands	4	1	5
Singapore	1	1	2
Switzerland	1		1
Taiwan	25	1	26
Thailand	4		4
UK	1	1	2
USA	8		8
総計	358	53	411



合計 17ヶ国

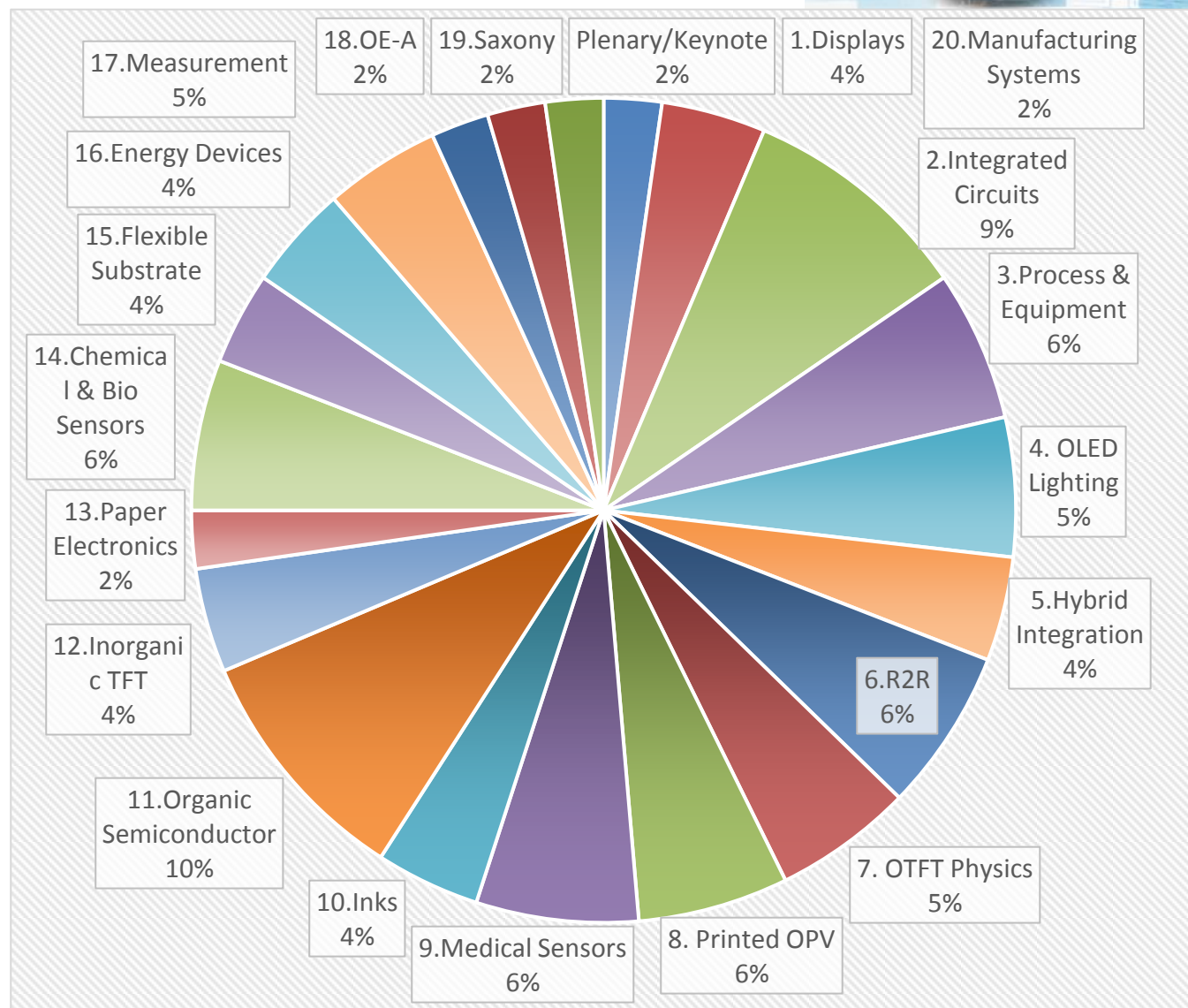
発表論文国別内訳

Country	invitd	oral	poster	論文数
Australia	1			1
Belgium	2			2
China	4	6	10	20
Finland	3	1	1	5
France	2			2
Germany	4	6		10
Greece	1	1		2
Hong Kong			1	1
Japan	16	42	75	133
Korea	5	3	8	16
Netherlands	1	3		4
Singapore			2	2
Switzerland	1			1
Taiwan	6	3	2	11
Thailand		3	1	4
UK	1			1
USA	4		1	5
総計	51	68	101	220

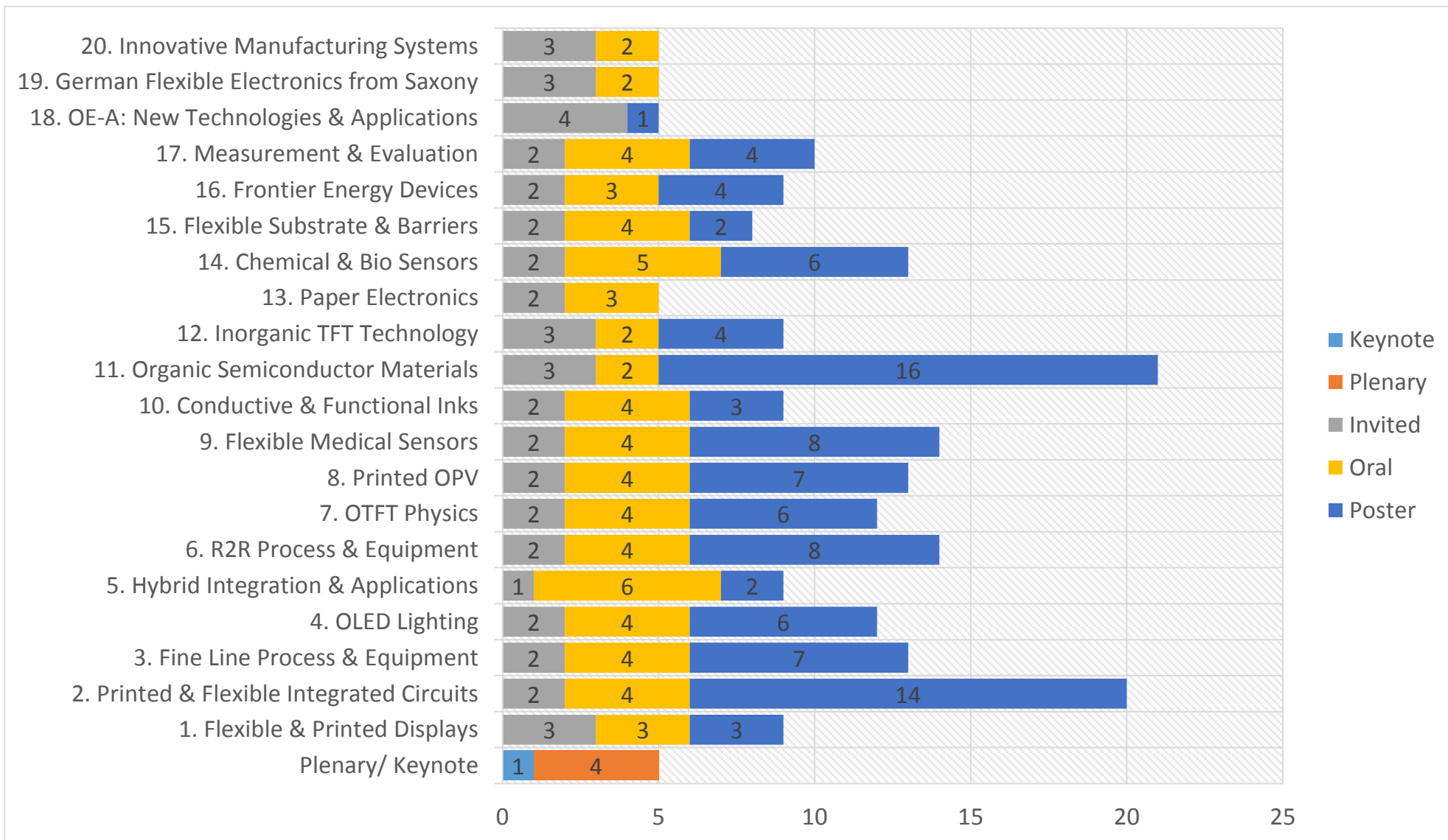


セッション内訳

Session	invitd	oral	post er	論文数
Plenary/Keynote	5			5
1.Displays	3	3	3	9
2.Integrated Circuits	2	4	14	20
3.Process & Equipment	2	4	7	13
4. OLED Lighting	2	4	6	12
5.Hybrid Integration	1	6	2	9
6.R2R	2	4	8	14
7. OTFT Physics	2	4	6	12
8. Printed OPV	2	4	7	13
9.Medical Sensors	2	4	8	14
10.Inks	2	4	3	9
11.Organic Semiconductor	3	2	16	21
12.Inorganic TFT	3	2	4	9
13.Paper Electronics	2	3		5
14.Chemical & Bio Sensors	2	5	6	13
15.Flexible Substrate	2	4	2	8
16.Energy Devices	2	3	4	9
17.Measurement	2	4	4	10
18.OE-A	4		1	5
19.Saxony	3	2		5
20.Manufacturing Systems	3	2		5
総計	51	68	101	220



セッション内訳



スポンサ企業

ARKEMA
INNOVATIVE CHEMISTRY

 **DIC Corporation**


Hitachi Chemical
Working On Wonders


Hitachi High-Tech

KOMORI


コニカミノルタ科学技術振興財団
Konica Minolta Science and Technology Foundation



検査・測定・計測・試験・分析機器の総合会社
科学の専社
 **株式会社ナルセ**


 **荘内銀行**

TORAY
Toray Engineering Co.,Ltd.

 **TOSOH CORPORATION**

 **山形銀行**

YOKOGAWA 

 **米沢信用金庫**

展示企業



アルケマ株式会社
日立化成株式会社
コニカミノルタ株式会社
日本電子精機株式会社
武蔵エンジニアリング株式会社
株式会社 SIJテクノロジー
JNC株式会社
旭化成株式会社
サカタ理化学(株) / 岩下エンジニアリング(株)
株式会社アポロウエーブ
株式会社東レリサーチセンター
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
フォンアルデンヌジャパン株式会社
昭光通商株式会社 / NovaCentrix社(米国)
東レエンジニアリング株式会社
株式会社マツボー
IOP Publishing
MORESCO

合計 18社

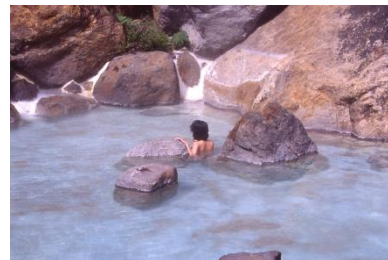
置賜／米沢工業会関連 参加企業



小森マシナリー
NEC
日産ケミカル
米沢信用金庫

合計 4社

- 国際会議を開催することにより、地元の企業が海外の最先端技術に触れることで技術開発が触発される
- 米沢の有機エレクトロニクス研究／産業の世界的拠点化を促進し、将来的には関連する企業の誘致等への効果が期待できる
- 国内外に対する知名度(物産、観光施設、史跡など)向上の効果がある



- 発表論文は、海外からの論文が全体の40%を占め、国際的な場で、多くの研究者と学生が発表を行い、最新の研究開発の成果に関して活発な議論が行われた。
- オーラル発表のセッションは今回のトピックスとして、Siと有機のハイブリッドエレクトロニクス、医療用センサ、バイオセンサの3セッションを設け、いずれも口頭発表件数で最多のセッションであった。
- バンケットは地元米沢市の市長他を来賓としてお招きし、約300名の参加者を迎え、米沢太鼓や愛の武将隊などの演舞もあり大盛況であった。
- 今回の会議運営に当たり、米沢市で大規模な国際学会が開催されるのは初ということもあり、米沢駅での案内、2次交通としてのシャトルバス運行、宿泊や夜の食事、観光案内、エクスカーションでの案内など、市関係者から多くの協力をいただいた。またこの会議の準備も約2年前から始め、山形大学の関係者を始め、市関係者、県関係者から多くのサポートをいただき、大成功の裡に3日間の会議を閉じた。

大変ありがとうございました